

ヤマト漢方薬局では、毎月定期的に石巻がほとくの新聞に掲載しております。  
皆様のお役に立てれば幸いです。



プロフィール

ふく たに しん じ  
**福谷 信治** 東北薬科大学卒業 薬剤師

日本中医薬研究会に所属し、20年間中国の大学医学部教授らから中国医学理論、実践の指導を受ける。

2004年宮城県では初となる国際中医師(中国漢方医師)の免許を取得。

「東洋医学の名医134人」のひとりに選ばれる。

# 耳鳴り・難聴によい漢方薬!

耳鳴りに悩む方の相談が増えています。その中には病院で検査しても、どこも悪くない、原因不明といわれる人もいます。中国医学では「腎は耳に通じる」といわれ、腎が衰退すると耳にも症状が現れると考えられています。腎の衰退、すなわち「腎虚」とは年をとって体が老化していくことに密接な関係があります。耳が遠くなったりしさがちで事実と一致します。その他、耳はとても敏感な器官で、耳鳴りはストレスや疲労により現れることもあります。

「腎虚」からくる耳鳴りは、小さな音が持続し、夜静かになった時などに特に気になります。眠りが浅く、ほてりやイライラ感などを伴うこともあります。腎が衰えると、足腰や視力、聴力などが弱る、排尿異常などの老化現象も現れやすくなります。このような場合は腎を補う「補腎薬」という漢方薬を使い治療します。ストレスや精神的な原因から起こる耳鳴りは、突然発症することが多く、頭痛やめまいなどを伴い大きく音がします。「肝」は自律神経を調節しストレスを発散する臓腑ですが、肝の負担が大きくなると気血の流れが乱れて耳鳴りにつながるのです。このような場合は自律神経のバランスをとる肝の「疎泄」(気)をほどよくスムーズに散らばし、流す機能をもち漢方薬を利用して治療します。



薬剤師・福谷信治



あなたの笑顔と健康が願いです。



## ヤマト漢方薬局

石巻市中里3-8-5 ☎ 0225-94-6195

◎ぜひ一度サイトをご覧ください ヤマト漢方薬局 検索

<http://www.yamato-kanpo.co.jp>

皮膚病(アトピー性皮膚炎、ニキビ、じんましん、乾癬、脂漏性皮膚炎、掌蹠膿疱症など)、子宝相談、婦人病、更年期障害、自律神経失調症、うつ病、耳鳴り、めまい、不眠、腰痛、関節痛、関節リウマチ、糖尿病、肝機能障害、高血圧